

この度のご質問における「②企画提案書本文」と「⑥プレゼンテーション資料(任意様式)」の記載内容や役割の違いについて、以下の通り、具体的な内容をお示しさせていただきます。

1. ②企画提案書本文についての役割と想定される記載内容

【役割】 企画提案書本文は、主に企画提案内容を体系的かつ網羅的に記述し、提案の具体性と妥当性を文書として説明するための基礎資料です。こちらは審査員が熟読し、提案内容を詳細に確認・検討するための中心的な書類として位置づけられます。

【記載すべき内容】 以下のような項目が含まれることが想定されます。

- ・企画の背景・目的: 企画を提案するに至った動機や、対象となる課題や現状の分析。
- ・提案内容の詳細説明: 具体的な取り組み内容、実施方法、計画のスケジュールなど。
- ・目指す結果・効果: 提案する活動や施策によって達成される成果(定量的・定性的なもの)。
- ・実現可能性やリスク管理: 提案内容が確実に実行可能であることを示すための根拠(技術的・経済的・運営上の裏付け)。
- ・費用負担・予算計画: 必要な資源(人材や設備、資金)や予算規模の試算。
- ・関連法規や方針との整合性: 本市の政策や制度、法令への適合性を具体的に説明。

2. ⑥プレゼンテーション資料(任意様式)についての役割と想定される記載内容

【役割】 プレゼンテーション資料(任意様式)は、企画提案書本文を補完し、口頭での説明と組み合わせることで提案内容をより効果的に伝えるための視覚的な資料となります。審査員に対して提案内容を分かりやすく、かつ印象的に伝えるためのツールとして機能します。

【記載すべき内容】 プレゼンテーション資料は提案内容の要点を端的にまとめ、視覚的な表現を工夫することが求められます。具体例として以下が挙げられます。

- ・概要のまとめ: 提案書本文のポイントを整理し、視覚的に分かりやすく提示(例: 目的、課題、計画の概要)。
- ・図表やイラスト: 計画内容の全体像や実施方法を表現する図表やフロー図。
- ・具体的な成果イメージ: 提案を採用した場合の効果や成果をイメージで表現(例: 達成目標に関するチャートやグラフ)。
- ・重要な訴求ポイントの強調: 本文で述べた内容の中から、特に注目してほしい部分を目立たせる(例: 社会的意義、技術的独自性)。

3.想定される具体例

以下は、想定され得る具体例の一部です。

【②企画提案書本文の具体例】

本市における地域課題を解決するための事業計画。提案内容には、事業実施のスケジュールや予算、提案主体の実績、地域住民への効果などを盛り込む。

【⑥プレゼンテーション資料(任意様式)の具体例】

複雑な課題に対する解決策をフロー図やイラストで分かりやすく説明。提案への期待効果をグラフやインフォグラフィックで視覚化。

4. 役割の違いについて

企画提案書本文では、提案内容を詳細で体系的に記述することで、企画の妥当性や実現可能性を審査員に伝える文書となります。一方で、プレゼンテーション資料は視覚的な補助と訴求力を高める役割を担い、口頭説明と合わせて審査員に具体的な企画のイメージを伝えるために活用されます。この役割の違いを踏まえて、それぞれを適切にご準備いただく必要があります。